

説明書

(令和5年8月13日作成)

(不誠実対応⑨)

悠生君が見つかった日、アルプスの森(施設長：宇津慎史)は、吹田警察署に児童発達支援管理責任者(宇津雅美)が来ることを約束(遺族からの電話：15時24分)していた。しかし、警察署に向かう直前(遺族からの電話：20時1分)になって突然、この約束を反故にした。すなわち4時間半の間、約束を放置しており、遺族側からかけた電話でこの約束を反故にしてきた。

この理由の一つとして、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)が吹田警察署に行く時間が19時半から21時の間のどの時間か不明であり90分の間隔が許容できないとの事であった。

従って、アルプスの森(施設長：宇津慎史)は、遺族側に対しての約束は4時間半の間、放置し、その約束を反故にすることは妥当であるが、自分たちが警察署に向かう正確な時間が解らず、90分の間隔があることは許容できないとのことである。

ここでも、悠生君の命を奪った事故に対する対応に真摯に向き合っていないことが解る。

(詳細事項)

悠生君が見つかった日、アルプスの森(施設長：宇津慎史)は、遺族側に吹田警察署に児童発達支援管理責任者(宇津雅美)が来ることを約束(遺族からの電話：15時24分)していたが、直前(遺族からの電話：20時1分)になって突然、約束を反故にした。すなわち4時間半の間、約束を放置しており、遺族側からかけた電話でこの約束を反故にしてきた(不誠実対応⑤の内容)。

この重要な約束を反故にした事に関し、アルプスの森(施設長：宇津慎史)は多くの理由を主張しているが、どれも倫理的にあり得ない主張ばかりである。このあり得ない主張の一つに、警察署に行くための正確な時間が不明であったことを述べている。

警察署に行く事が出来るタイミングで遺族側が再度、アルプスの森(施設長：宇津慎史)に電話をすることを昼(15時24分)の電話で約束していた。その昼の電話において吹田警察署に行く時間は19時半から21時の間のどこかになるので、その時間の中に遺族側から電話をかけることを説明していた。従って、およその吹田警察署に行く時間はアルプスの森(施設長：宇津慎史)側に提供していた。

その後、実際に吹田警察署から連絡があったため、直ぐに遺族側はアルプスの森(施設長：宇津慎史)に連絡を入れた。この時間が20時1分であった。そこで突然、約束を反故にするような発言がアルプスの森(施設長：宇津慎史)から出てきた。従って遺族としては、約束をして4時間半の間、待っていたのに、突然、約束を反故にされた状況である。

勿論、警察に行く正確な時間が解らなかったという理由は当時、聞いていない。アルプスの森が作成した回答書で初めて出てきた状態である。

一方、アルプスの森（施設長：宇津慎史）からの回答書は以下内容となっている。

当社が夜の何時頃に吹田警察署に行けば良いのか判らなかつたと説明したことについて、まったくの偽りであると反論されております。

この点に関し、清水様は19時半頃か21時には吹田警察署に戻ってくることになるかと伝えていたと反論されておりますが、仮にこれが事実であるとしても、戻ってくる時間だけで90分もの間隔があり、戻られた後、実際にいつ清水君とお目にかかれるのかは判りませんでした。

このような当時の事情を踏まえて、夜の何時頃に吹田警察署に行けば良いのか判らなかつたと説明したものであり、嘘ではないものと考えます。

（回答書(令和5年7月7日付)より一部抜)

従って、アルプスの森(施設長：宇津慎史)側は、この90分の誤差は許容できない誤差と認識したとのことである。この日(令和4年12月16日)は施設利用者であった悠生君が行方不明になり、8日間見つからず探し続け、やっと見つかった状態である。

遺族は悠生君が、いつ見つかるのか、はたまた一生見つからないのか、絶望感にかられながら搜索活動をしていた。しかしながら、アルプスの森(施設長：宇津慎史)側はそのような感情はなく、真面目に搜索活動に参加していなかった(不誠実対応⑧の内容)。

実際にアルプスの森(施設長：宇津慎史)からの回答書において、以下のような記載がある。あくまでも、事故後も通常業務を継続しており、その業務の片手間に悠生君の搜索をしていたとの記載をアルプスの森(施設長：宇津慎史)は疑問にも思わず回答書にしている。

宇津は、事業所でお預かりしている児童やその保護者への対応、職員に対する指示、行政への対応を行いながら、空いている時間は清水君の搜索に努めていました。その内容は、前記報告書に記載したとおりです。

（回答書(令和5年3月16日付)より一部抜)

従って、この 90 分の誤差ですら許容できないと認識しているのは、如何に真面目に悠生君の搜索活動をしてきていないかの説明になる。また、如何に自分たちが起こした死亡事故を軽く考えているかが解る。